

地域の松林を守りましょう



県立大学生物資源科学部
小林一三教授

松くい虫は、台湾や韓国、中国といった国々でも、被害が広がるなど大変深刻な問題となっています。

日本各地の被害の現状を見てきましたが、市民の関心が低いところほど被害の広まりが早いようです。秋田市は、防除対策しだいではまだ被害をくい止めることができると思います。市内の松林を守るためにも、まずは、松くい虫の怖さと被害の現状を知ってください。

被害の拡大を防ぐために...

松くい虫を退治する。でもその前に松くい虫の生態を知って、被害に遭った木の適切な処分をしましょう

マツノマダラカミキリが成虫となるのは初夏から。成虫となって飛び立つまでの間に、センチウがカミキリの体に移ります

なつ

カミキリは6月下旬から秋にかけて、健康な松に飛び移り樹皮を食べます。この時、カミキリの体内にいるセンチウが、かみ傷から松に移ります

はる



松くい虫の被害サイクル

センチウが松を急激に枯らしめます。寒い地方では松枯れの症状が、翌春にも出ることがあります。

あき

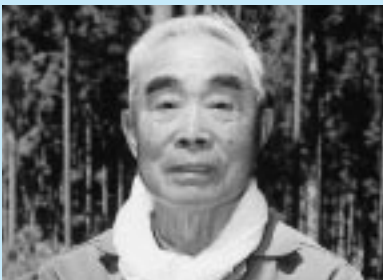
カミキリはこの時期に松に産卵します

ふゆ

卵からふ化したカミキリの幼虫は幹に深く穴をあけ冬を越します

（資料提供・社）全国林業改良普及協会

山林看守人 山を守ります



佐藤武之助さん(下浜)

山火事や山崩れの防止など、山林を見回るのが私たちの仕事です。現在、市内の山林看守人は33名。私が担当する下浜の山林でも平成5年頃から松くい虫の被害が増えてきました。被害がこれ以上ひどくならないように、市へのいち早い連絡を心がけています。

ごみの不法投棄の報告もあります。山道が整備され、山奥まで入り込めるようになったのも一つの原因ではないでしょうか。地元の山を守るため、これからも巡回の手はゆるめません。



駆除はお早めに！

林務課では、松くい虫の被害拡大を防ぐため、秋田市森林組合に委託し、山林や公園の被害木の伐採などを行っています。個人で所有している松が、松くい虫の被害を受けたら、カミキリが移り始める6月末までに伐採処理をお願いします。被害予防法としては、6月下旬～7月上旬に行う薬剤散布、2月～3月に行う薬剤の樹幹注入が効果的です。実施をお考えのかたは、林務課 ☎(866)2117までお問い合わせください。

平和公園で薬剤散布

松くい虫防除のため、6月27日(水)午前4時～午後4時頃まで平和公園内と泉字五庵山、外旭川字山崎付近で地上からの薬剤散布を行います。27日の午前中は、安全確保のため公園内を通行止めとしますので、なるべく近づかないようお願いいたします。



市森林組合の伐採駆除の様子。枝は現場で機械を使ってチップにされ(写真右)、幹は製材所に運ばれチップにされます。被害木の運び出しが困難な山中では、その場で薬剤をかけ、シートをかけてくん蒸します(写真左)